National

超低ひずみ率RC発振器

VP-7220A

- 0.002%の超低ひずみ率
  （特許出願中）
- 1Hz～99.9kHzディケード方式
- 0.02dBのフラットネス
- 90°の位相差をもつQUAD出力付
- 出力計および減衰器を内蔵

○ 特長

1.0.002%の超低ひずみ率

ひずみ率を劣化させない新方式の振幅制御回路(特許出願中)を採用し今まで到達できなかった0.002%の超低ひずみ率を実現しました。(100Hz～9.99kHz)しかも周波数切換時のトランジェントもミリセカンドの単位で安定し、いつも一定の出力を提供します。

2.0.02dBのフラットネス

新方式の振幅制御回路は、周波数に対する振幅特性も検知限界である、0.02dBのフラットネスを実現しました。(20Hz～20kHz)
低ひずみ率と合わせて高性能アンプ、フイルタなどの新たな分析や測定に欠かせない信号源です。

3.1Hz～99.9kHz ディケード方式

周波数範囲は3つのディケードダイアルと1つのレンジスイッチにより、1Hz～99.9kHzまでディケード方式で可変できます。周波数バーニアつまみにより、各ステップ間を連続可変することができます。同時にこのつまみは0.2Hz～1Hzの可変つまみとしても使用します。

4.90°位相差をもつQUAD出力

主出力(前面パネル)に対して周波数に無関係に、90°位相のおくれた出力(QUAD出力：背面パネル)が供給できます。出力は約30dB以上連続可変できる出力調整器を内蔵しています。
この出力を利用して、2相出力の信号源として特殊な位相関係の測定に利用できます。

5.出力計と減衰器を内蔵

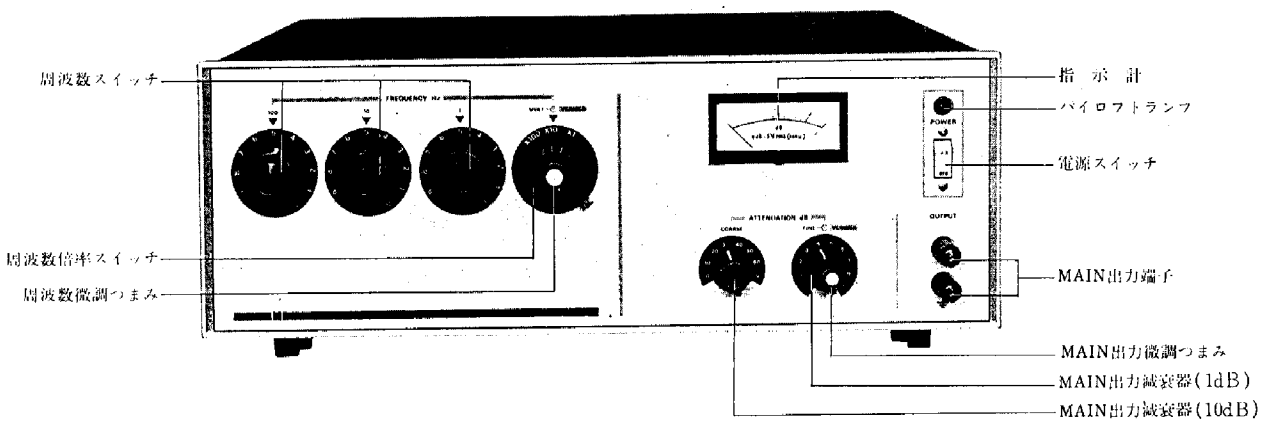
出力をモニタするために、1dBの目盛をもった出力計が内蔵されています。バーニアつまみによって、0dB＝5Vrms(600Ω)を基準に減衰器のステップ間をカバーします。
減衰器は0～79dBまで1dBステップで可変できます。

6.超低ひずみ率計

この発振器と組み合わせて超低ひずみ率測定が容易にできる超低ひずみ率計VP-7702Aの併用をおすすめします。

松下電器
松下通信
ナショナル 電子計測器
Electronic Measuring Instruments

VP-7220Aの各部の名称



仕様

発振周波数：1Hz～99.9kHz
×1　1Hz～999Hz
×10　1kHz～9.99kHz
×100　10kHz～99.9kHz
VERNIERつまみにより、約0.2Hz～1Hzをカバーする
(ただし周波数は校正されていない)

周波数誤差：±1%　20Hz～20kHz
±(2%+0.1Hz)　1Hz～99.9kHz

出力電圧：10Vrms (開放) } MAIN出力　±3% (1kHzにおいて)
5Vrms (600Ω負荷) } QUAD出力　±10% (1kHzにおいて)

出力周波数特性：MAIN出力　±0.02dB以内　30Hz～20kHz
±0.05dB以内　20kHz～50kHz
±0.1dB以内　1Hz～99.9kHz
QUAD出力　±0.1dB以内　30Hz～20kHz
±0.5dB以内　1Hz～99.9kHz

ひずみ率：0.002%以下　100Hz～9.99kHz
0.01%以下　10Hz～20kHz } MAIN出力
0.05%以下　5kHz～99.9kHz
(FREQ VERNIERはCALの位置とする)

出力インピーダンス：600Ω 不平衡　MAIN・QUADとも

出力調整器：MAIN出力
0～70dB 10dBステップ
0～9dB 1dBステップ
1dBステップ間連続可変
QUAD出力　30dB以上連続可変

MAIN
QUAD位相差：20Hz～20kHz　90°±2°以内

電源：AC 50～60Hz 100V

消費電力：15VA以下

大きさ：430W×150H×350D mm

重さ：約6.5kg

アクセサリー

取扱説明書　1部
VQ－020BB……測定リード……1
VQ－020BR……アースリード……1

ユーザ各位のご要望、当社の性能・品質の改良等により、おことわりなしに仕様の一部、デザイン等を変更させていただくことがあります。

●お問合せは…
ナショナル
松下通信工業株式会社
電子計測事業部　TEL(045)531-1231
〒223　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

〈75・09・005・SS1〉